

# 相談支援センターだより

秋田大学医学部附属病院

相談支援センター 発行

第28号平成26年 11月 11日

## 「平成26年度 東北ブロック 地域相談支援フォーラム開催報告」

7月26日（土）に仙台国際センターにおいて、国立がん研究センターと東北がんネットワークがん患者相談室専門委員会の共催で「東北ブロック地域相談支援フォーラム」が開催され、当センターからは今野が実行委員として参加しました。

相談支援実務者対象の研修会と、市民公開セミナーの二本立てでした。本県からは、実行委員を含め14名の実務者の参加があり、県担当者1名と患者会から1名のオブザーバーとしての参加がありました。

研修会では、実務者が直面している2つのテーマについてグループディスカッションを行い、全体で共有し、最後には各県ごとに他県の取り組みから自県でどのようなことが課題か、どういった取り組みができるかについて共有し、6県の決意表明で締めくくられました。

がん相談支援センターの院内での足場を確立する過程で心がけてきたことについて、相談支援の実践における成功体験を発信していくことや、とにかくいろんなところに顔を出して地道に広報していくこと、医師会へのアプローチ、治療前に医療費についてMSWが面談するシステムづくりなど、組織的な動きの重要性についても共有されました。

また、様々な相談支援の空白を少なくしていくために、1施設を超えて患者・家族を支援するためにできることとして、相談支援のコンテンツを作成する、限られた資源（民生委員や救急隊など）との連携強化、医師会やケアマネジャー・訪問看護等の部会を活用していく、巡回相談へ出向くなどの意見が共有されました。

東北6県の様々な取り組みを知り、秋田県の相談支援実務者のモチベーションも高まったと思います。本フォーラムで交流し学んだことを県の相談支援担当者会へ持ち帰り、秋田県の相談支援の質の向上に向けた新たな取り組みの具体化につなげていきたいと思います。

## 平成26年度 第1回がん相談員担当者会

平成26年度第1回がん相談員担当者会が10月10日（金）に中通総合病院にて開催されました。県内拠点病院担当者と国立がんセンター担当者を交え、がん相談支援に関する今後の取り組みについて検討しました。がん相談支援センターの「見える化」も今後の課題の一つです。



中通総合病院鈴木病院長より「受け身の相談ではなく、積極的に関わる体制づくりを地域と共に」とご挨拶頂きました。



秋田県健康福祉部がん対策室後藤氏より県としてのサポートの在り方についてご発言頂きました。

# 「皆さんのご意見・ご要望」より

当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：食堂をつくって下さい。

回 答：医学部附属病院は築後35年以上を経過しており、外来患者の増加による診察室の不足など診療環境の悪化が顕著になっており、このままでは近年の目覚ましい進歩に対応した高度な医療を提供することが困難になりつつあります。

そのため、現在の改修計画では診療スペースの確保を優先し、食堂の設置を見合わせております。

しかしながら、診療スペースを充実させながらも現在の改修計画とは別に将来食堂を造ることができないか検討し、問題解決に向けて努めているところです。

ご理解のほどよろしく申し上げます。

ケース2：入院時に測った身長がいつもより高くてびっくり。

後でもう一度測ったところ目盛りの位置の見方が違っていました。身長計の目盛りの見方が二通りあるように見えたが、低い方の目盛りが正しい身長でした。

7月1日から11日間、入院手術の貴重で興味深い経験でした。ドクター、ナース、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました。

回 答：お元氣になられたご様子に、スタッフ一同うれしく思っております。

身長計の構造上、目盛りに対し、スライドする部分と、頭にあたる部分（ヒット部分）とで高さが異なることから、身長の見方に誤解を招いてしまいました。

入院なさいました際には、こうした基本的な間違いで戸惑わせてしまいましたことをお詫びいたします。患者さんにとって興味深い経験との感想をいただきましたが、良い看護であったことを願うばかりです。今後とも安心・安全な看護を目指して参ります。

ありがとうございました。



## 指定難病及び小児慢性特定疾病の医療費助成について



難病患者への医療費助成を広げる難病医療法が5月に成立し、2015年1月に施行されます。法律に基づき、自己負担限度額（月額）や算定方法、入院中の食事代負担の変更もありますのでご注意ください。

2015年1月の第一次実施（先行分）と夏頃の第二次実施の新規疾病（先行分以外）の二段階で実施されます。

- ・ 指定難病…110疾病に拡大され、夏頃までには約300疾病まで拡大予定。
- ・ 小児慢性特定疾患…705疾病に拡大予定。

※窓口はこれまでの特定疾患・小児慢性特定疾患同様、住所地の保健所です。

現在、既認定者の更新申請と法改正に伴う移行申請を同時に保健所で受付中です。

詳細は秋田県のホームページ、又は各保健所にお問い合わせください。

